



「輝く人」とは、夢のため、人のため、地域のため、一つのこと打ち込んで頑張っている人。それぞれ目的は違えど、その活動は、より良いまちづくりへとつながっています。「輝く人」の輝きを多くの方に知ってもらいたい、その思いが「輝く人」シリーズの原点です。

## 大竹を、子どもたちの笑顔があふれるまちに



ハローの仲間

**秋山 寛一** さん (69歳 新町2)



11月15日、大竹駅前にて点灯式が行われ、多くの人でにぎわった。

**大**

竹駅前にイルミネーションの点灯を始めて、今年で6年になります。「大竹のまちを子どもたちの笑顔でいっぱいになりたい」という思いからこの企画が始まりました。今年のテーマは「大竹」。市制施行60周年を記念して、「おおたけ60」の文字や松ヶ原の竹を飾っています。他市のイルミネーションも参考にしつつ、毎年皆で試行錯誤しながらデザインを考えています。今回は、「ハローの仲間」だけでなく、「栄町を明るくする会」や「YS連合」の皆さんと一緒に作りました。

作業の中で大変なのは、高い木に電球を付けていくことです。点灯しながら配色を決めていくのですが、はじめて足元が不安定になり、仕上げていくのに苦労しています。大変なこともありますが、イルミネーションを見に来してくれる子どもたちの喜ぶ姿を見ると、この活動を続けて良かったなと思うんです。他にも、「ありがとう」、「きれい」、通勤の方から「このイルミネーションを見ると大竹に帰って来たという感じがする」という声もいただけて、大変嬉しく思います。

これから、このようなまちづくりを手伝ってくださる方が増えてほしいなと思います。まちづくりを通して、人と人とのつながりを広げていきたいです。